遺伝性コレステロール生合成経路の異常症の診断・治療のため、当院に入院・通院された患者さんの試料・情報を用いた医学系研究に対するご協力のお願い

研究責任者　所属 皮膚科学教室 職名 教授
氏名 天谷　雅行
実務責任者　所属 皮膚科学教室 職名 専任講師
氏名 伊東　可寛
連絡先電話番号 03-5363-3823

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院された患者さんの試料・情報を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「８　お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

１　対象となる方

西暦 2013 年 3 月 25 日より、当院皮膚科にて遺伝性コレステロール生合成経路の異常症の診断、治療のため入院、通院し、診療や手術、検査等を受けた方

２　研究課題名

承認番号　20160276
研究課題名　「患者検体を用いた皮膚炎症の病態解明」

３　研究実施機関

慶應義塾大学医学部皮膚科学教室・慶應義塾大学病院皮膚科

共同研究機関　研究責任者

・国立研究開発法人理化学研究所 医科学イノベーションハブ推進プログラム
　小安　重夫（プログラムディレクター）
・米国 Columbia University Department of Dermatology
　Angela M. Christiano（Vice-Chair and Director of Basic Science Research, Department of Dermatology / Departments of Dermatology and Genetics & Development / Richard & Mildred Rhodebeck Professor）

既存試料・情報の提供機関　提供者

国立研究開発法人理化学研究所 医科学イノベーションハブ推進プログラム
　小安　重夫（プログラムディレクター）

４　本研究の意義、目的、方法

本研究では様々な皮膚炎を起こす皮膚疾患を対象とし、患者さんの血液や皮膚の組織を調べることで、皮膚炎の原因と炎症が慢性化するメカニズムを明らかにしていくことを目的にしています。さらに、これらの解析結果をもとに、患者さんに対して適切な生活指導を行うための項目を明らかにしていきます。

慶應義塾大学医学部皮膚科および理化学研究所 医科学イノベーションハブ推進プログラムにて患者さんの皮膚や血液中の糖・タンパク質・脂質代謝および有機代謝物、サイトカイン、遺伝子発現パターンが皮膚の炎症にどのような影響を及ぼすかを様々な方法で解析します。脱毛や毛包に炎症がある検体に関しては、共同研究施設である米国コロンビア大学（研究代表者：Angela M. Christiano）に検体を送付し、組織学的な解析を行います。

５　協力をお願いする内容

① 患者診療記録の利用（一般診療において実施する臨床検査、自覚症状、身体所見）
② 保存している末梢血の解析。
③ 保存している皮膚組織の解析。

６　本研究の実施期間

西暦 2017 年 2 月 10 日～2027 年 3 月 31 日

７　プライバシーの保護について

1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名および患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
2) 本研究で取り扱う患者さんの試料・情報は、個人情報をすべて削除し、第３者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
3) 患者さんの個人情報と、匿名化した試料・情報を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

８　お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、試料・情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学医学部皮膚科
研究責任者　天谷　雅行
実務責任者　伊東　可寛
電話: 03-5363-3823（直通）　FAX: 03-3351-6880

以上